

## 新市建設計画小委員会協議報告について

風連町・名寄市合併協議会新市建設計画小委員会において協議した内容について、下記のとおり報告する。

### 記

#### 1. 会議の開催状況について

##### 第6回小委員会

開催日時 平成16年10月8日(金)午後6時開会

開催場所 名寄市民文化センター視聴覚室

協議案件 協議第1号 「新市財政推計について」

原案の推計方法等について審議、次回以降に審議を継続

その他 「市立名寄短期大学の4大化計画について」

大学設置準備室から説明

「懇談会のまとめについて」

5回にわたる懇談会のまとめについて確認

##### 第7回小委員会

開催日時 平成16年10月29日(金)午前9時30分開会

開催場所 風連町役場第2委員会室

協議案件 協議第1号 協議第1号 「新市財政推計について(継続協議)」

継続審議、次回以降に審議を継続

協議第2号 「新市建設計画について」

原案について審議、次回以降に審議を継続

##### 第8回小委員会

開催日時 平成16年11月3日(水)午前9時30分開会

開催場所 名寄市役所4階大会議室

協議案件 協議第1号 「新市建設計画について(継続協議)」

原案を一部補強(修正)し、答申案について決定

協議第2号 「財政推計について(継続協議)」

原案の一部修正を行い、別紙小委員会意見を付し、財政計画の基礎とすることについて決定

#### 2. 小委員会の活動状況について

##### 懇談会

別紙のとおり

## 新市建設計画小委員会『懇談会』の開催概要

### 1. 会議の開催状況

- 第1回** 7月16日(金) 午後6時 風連望湖台同友会コテージ 内容「懇談会運営・進め方、新市建設計画スケジュール、懇談項目；住民自治・地域コミュニティ、観光振興」 委員14名出席、事務局3名
- 第2回** 8月8日(日) 午後1時30分 名寄市民文化センター視聴覚室 内容「新市将来構想、懇談項目；文教、産業」委員出席名、事務局3名
- 第3回** 8月20日(金) 午後6時30分 風連町役場第2委員会室 内容「懇談項目；社会福祉、合併特例債、広域関係」委員出席12名、事務局3名
- 第4回** 9月2日(木) 午後6時 名寄市民文化センター視聴覚室 内容「行政改革の取組、役所機能の充実、情報開示、住民参画・協働によるまちづくり、職員人材活用」出席委員11名、事務局3名
- 第5回** 9月21日(火) 午後6時 名寄市民文化センター視聴覚室 内容「懇談項目；生活・自然環境、懇談会まとめ、新市建設計画に向けて」 出席委員11名、幹事・事務局4名

### 2. 新市建設計画への反映

項目別	基本理念・方向性として盛り込む事項	建設計画に盛り込む施策・事業等
総論	自治基本条例(仮称)の制定 一体性確保・地域存続(歴史・文化等の継承)	
住民自治・地域自治組織の確立	現行の行政区・町内会は、双方の地域の設立背景・歴史・性格上の差異はあるが、年月をかけて認め、理解し合って自治会等へ移行 自治区の制度設計 参画を基本とした地域コミュニティの形成 総合計画策定やまちづくりにあたり、住民参画・協働を基本とした取組の展開	コミュニティ形成のため統一イベント開催 まちづくり懇談会等の開催 住民参画による歴史・文化事業の継承・発展 地域コミュニティ形成に向けたイベント等の推奨
保健・医療・福祉の充実	幼保一元化の検討 施設の効率的な管理運営	幼保一元化に向けた検討・研究体制の整備 委託等福祉施設の管理運営形態の見直し
環境・生活基盤の整備	総合的なごみ対策及び施設整備(再資源化・減量化)  総合的な利雪克雪対策の推進  効率的な道路整備及び管理	ごみ分別及び減量化に向けた啓蒙普及及び条件整備(ストックヤード確保等) 現行処理施設の延命、ごみ焼却施設の検討 北国生活に配慮した住宅推奨(雪対策を講じた建設等)及び雪処理に係る啓蒙普及 雪エネルギーの研究及び活用 協働による管理の充実、住民作業困難カ所の解消(機械の有効利用及び導入)
産業の振興	農業生産基盤確立に向けた試験研究の充実  憩いと休養の場づくりを主とした観光の振興 新市・地域特性を活かした観光イベント創設 環境に配慮した森林整備の推進	農業振興中核施設の整備 公営牧場の利活用(草地更新) ポスト「中山間等地域直接支払制度」等の取組 保養施設の整備 てっし名寄、風舞あんどん等の継続・発展 未流木地の解消
生涯学習・文化・交流の推進	効率性・機能性に配慮した施設の充実(整備) 「学習の里」構想；人材・自然・施設を活かした体験学習の推進 交流の推進	文化ホールの整備(建設) 体験学習など受入体制の整備 体験学習施設の整備 住民主体の各種交流事業の推進(継続)

## 新市建設計画に係る財政推計等に対する付帯意見について

平成16年11月3日

新市建設計画小委員会

委員長 堀江 英一

新市建設計画策定に係る合併後の財政推計について、下記のとおり取り扱うことの見解を付し、第4回風連町・名寄市合併協議会に報告する。

### 記

1. 合併後10年間の財政シミュレーションは、現段階における長期的推計を基本に積算されたものと解し、新市の行政執行にあたっては、継続的な行財政改革をもって臨むこと
2. 合併特例法の適用期間終了後の財政運営を考慮し、期間中に新市としての財政基盤を確立させるため、基金の取り崩しは慎重に行うこと
3. 地方交付税（臨時財政対策債を含む）をはじめとする三位一体の改革など、不確定要素に係る事項については情報収集に努め、財政運営（計画）は適切な見通しと見直しによってあたること
4. 地方税の収納率は比較的高く推移しているが、更に税・負担金・使用料・手数料等の収納向上に努力するなど、自主財源の確保に努めること
5. 合併特例債は、新市建設の趣旨に沿って適用するとともに、事業の必要性を鑑み厳選して有効に活用すること
6. 建設計画に基づく施策事業の実施については、新市総合計画の策定前においても適宜（逐次）ローリングをもってあたること
7. 新市がスタートし総合計画の実施計画策定までの間、双方が予定した施策事業の実施にあたっては、緊急及び必要度合いの高いものであっても、合併前から2市町間において充分調整を図って臨むこと